

IC 機器の導入・図書館管理システムの更新について

■ IC 機器の導入

1. 自動貸出機 (2台)

利用者自身で一度に10冊まで本の貸出処理ができる。

従来の1冊ずつから一度に最大10冊処理へと機能が向上したため、利用の回転が速く好評である。

ただし、延滞している場合、貸出券の有効期限が切れている場合などは使用できないため、貸出カウンターで必要な声かけができる運用である。



2. 自動返却ポスト (1台)

自動返却ポストに本を投函すると「仮返却処理」がされ、職員による返却処理を待たずに新しく本を借りることができるようになった。

仮返却本は、職員による「返却確認処理」が必要であり作業量は減っていないが、カウンターの混雑が緩和した。また、「返却確認処理」を行うタイミングは、カウンターの混雑具合で調整できるため、目の前の利用者対応を優先できることも利点である。



3. セキュリティゲート (2か所)

貸出手続きをしていない資料が通過すると、音で知らせる盗難防止装置。従来と異なり、どの本が反応したのか、パソコンで確認することが可能になった。

また、ゲートの間口が広がったため通りやすくなり、出入りする人通りがスムーズになった。



■図書館システムの更新について

1. Web書棚

図書館 HP から資料を検索したときに、Web 上で本棚に並んでいるように見ることが出来る機能。

検索した本が、図書館ではどんな本と一緒に並んでいるかが表示される。

また、「うちゅう」「きょうりゅう」等のピクトグラムをクリックすると、そのジャンルの本が並ぶ。

タイトルなどを入力しなくても本を探すことができる機能。



2. 読書チャレンジ (パスワードが必要)

自分で、目標期間や目標冊数を設定すると、自分が借りた本の冊数が確認でき、目標達成度がわかる。

読書チャレンジ											
達成状況											
目標期間	2024年度										
目標冊数	100										
貸出冊数	74										
達成度	74%										
年度毎月別貸出冊数											
2024年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	4	4	7	6	2	7	19	8	5	8	2

3. 雑誌のバックナンバーの予約開始

最新号を含む3号より前の雑誌は予約ができるようになった。

なお、貸出期間の延長は、これまでどおり不可。